

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	ヘルスアセスメント論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	後期	教室名	1年生教室・実習室
担 当 教 員	中原 真理子 中村 裕子	実務経験と その関連資格	医療施設において看護師として働いていた			
<b>《授業科目における学習内容》</b> 対象の健康状態を把握するために必要な技術であるヘルスアセスメントについて学ぶ。ヘルスアセスメントの技術として、全体の外観、バイタルサインの観察、計測、系統別アセスメントの実際を学ぶ。フィジカルアセスメントにより患者の健康上の問題や強みを把握し、系統的かつ客観的に情報を収集することで、身体の正常と逸脱の範囲を判別するものであることを理解できる。						
<b>《成績評価の方法と基準》</b> 筆記試験、課題レポートで評価。(中原50点 中村50点) ※技術チェック(バイタルサインの測定)を合格していることが、単位認定の条件です。						
<b>《使用教材(教科書)及び参考図書》</b> 新体系看護学全書 基礎看護学② 基礎看護技術 I (メヂカルフレンド社) 新体系看護学全書 基礎看護学③ 基礎看護技術 II (メヂカルフレンド社) 新体系看護学全書 基礎看護学④ 臨床看護総論(メヂカルフレンド社)						
<b>《授業外における学習方法》</b> 授業を理解するために、予習・復習を通して自主的に調べ学習や演習の練習を行いましょう。						
<b>《履修に当たっての留意点》</b> 講義と演習を組み合わせで行います。実習室へ入りますので、身だしなみに十分気をつけましょう。 初めて「聴診器」を使用する科目です。看護師として毎日行う技術ですから、しっかり学習し習得しましょう。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	ヘルスアセスメントの意義と目的を理解し、必要とされる技術について説明できる。	指定教科書、配布資料、パソコン、プロジェクター、スピーカー	事前学習:シラバス・教科書 I 第2章A・Bを読む 事後学習:授業内容の振り返り	
		各コマにおける授業予定	体表解剖とフィジカルアセスメント フィジカルアセスメントにおける基本技術 一般状態のアセスメント①:バイタルサイン 一般状態のアセスメント②:身体計測			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	バイタルサインの観察の意義、体温のアセスメントと体温上昇時に観察すべき点について説明できる。	指定教科書、配布資料、パソコン、プロジェクター、スピーカー	事前学習:教科書 I 第2章Cを読む 事後学習:授業内容の振り返り	
		各コマにおける授業予定	バイタルサインとは、観察の意義 体温維持に関する基礎知識、体温測定の方法、体温の生理的変動因子、体温の測定値と異常、体温上昇時に観察すべき点			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	血圧、意識のアセスメントについて説明できる	指定教科書、配布資料、パソコン、プロジェクター、スピーカー	事前学習:教科書 I 第2章Cを読む 事後学習:授業内容の振り返り	
		各コマにおける授業予定	血圧維持に関する基礎知識、血圧測定の方法、血圧の生理的変動因子、血圧の測定値と異常 意識に関する基礎知識、意識レベルの評価方法			
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	血圧測定ができる。血圧のアセスメントについて説明できる	指定教科書、配布資料、血圧計、聴診器、フィジコ等	事前学習:教科書 I 第2章Cを読む 事後学習:授業内容の振り返り	
		各コマにおける授業予定	バイタルサイン測定の測定用具の点検と準備 体温の測定方法と留意点、脈拍の測定方法と留意点、気球の測定方法と留意点、血圧の測定方法			
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	バイタルサインの測定技術の方法と留意点がわかり実施できる	指定教科書、配布資料、血圧計、聴診器等	バイタルサイン測定シートに記入	
		各コマにおける授業予定	事例をもとにアセスメント・測定			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	系統的なフィジカルアセスメントの実際が理解できる	指定教科書、配布資料、血圧計、聴診器、身長体重計等	事前学習:教科書Ⅰ第2章C(計測)を読む、計測のワークシート記入 事後学習:授業内容の振り返り
	各コマにおける授業予定	体表面・呼吸器系・循環器系・腹部・消化器系・感覚系・脳神経系・姿勢の保持・運動系のアセスメント 心理・社会的状態・セルフケア能力のアセスメント			
第7回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	フィジカルアセスメントについて理解できる	指定教科書、配布資料、聴診器、フィジコ等	事前学習:教科書Ⅰ第2章Dを読む、フィジカルアセスメントのワークシート記入 事後学習:授業内容の振り返り
	各コマにおける授業予定	体表面・呼吸器系・循環器系・腹部・消化器系・感覚系・脳神経系・姿勢の保持・運動系のアセスメント 心理・社会的状態・セルフケア能力のアセスメント			
第8回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	呼吸器系のフィジカルアセスメントの方法を知ることができる	指定教科書、配布資料、フィジコ等	事前学習:教科書Ⅰ第2章Dを読む、フィジカルアセスメントのワークシート記入 事後学習:授業内容の振り返り
	各コマにおける授業予定	視診・触診・打診・聴診を用いて呼吸器系フィジカルアセスメントの進め方を授業とDVDで確認することができる。			
第9回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	循環器系のフィジカルアセスメントの方法を知ることができる	教科書(基礎看護技術Ⅰ、看護技術プラクティス)、配布資料、パソコン、プロジェクター、スピーカー	事前学習:教科書Ⅰ第2章Dを読む、フィジカルアセスメントのワークシート記入 事後学習:授業内容の振り返り
	各コマにおける授業予定	視診・触診・打診・聴診を用いて循環器系のフィジカルアセスメントの進め方を授業とDVDで確認することができる。			
第10回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	消化器系のフィジカルアセスメントの方法を知ることができる	指定教科書他	事前学習:教科書Ⅰ第2章Dを読む、フィジカルアセスメントのワークシート記入 事後学習:授業内容の振り返り
	各コマにおける授業予定	視診・触診・打診・聴診を用いて消化器系のフィジカルアセスメントの進め方を授業とDVDで確認することができる。MMTを使用して、対象の日常生活動作について把握する			
第11回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	神経系のフィジカルアセスメントの方法を知ることができる	指定教科書他	事前学習:教科書Ⅰ第2章Dを読む、フィジカルアセスメントのワークシート記入 事後学習:授業内容の振り返り
	各コマにおける授業予定	意識状態、陣形学的所見から視診・触診・打診を用いて神経系のフィジカルアセスメントの進め方を授業とDVDで確認することができる。			
第12回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	運動系のフィジカルアセスメントの方法を知ることができる	指定教科書他	事前学習:教科書Ⅱ第7章A,Bを読む 事後学習:授業内容の振り返り
	各コマにおける授業予定	四肢のフィジカルアセスメント			
第13回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	生命維持/日常生活に影響を及ぼす障害と看護について理解できる	指定教科書他	事前学習:教科書Ⅱ第7章C,D,Eを読む 事後学習:授業内容の振り返り
	各コマにおける授業予定	意識が障害されるということ			
第14回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	患者の安全・安楽に配慮し、かつ正確にバイタルサインの測定を実施することができる。	指定教科書他	事前学習:バイタルサイン測定の技術練習 事後学習:技術チェックを終えての自己評価
	各コマにおける授業予定	技術チェック(バイタルサインの測定)			
第15回	演習 形式	授業を通じての到達目標	患者の安全・安楽に配慮し、かつ正確にバイタルサインの測定を実施することができる。	指定教科書他	事前学習:バイタルサイン測定の技術練習 事後学習:技術チェックを終えての自己評価
	各コマにおける授業予定	技術チェック(バイタルサインの測定)			